

日本経済新聞 2015年10月9日

タイトル

国際会計基準IFRSが変える(上)

グループ経営のインフラに 共通モノサシ、内需企業も

記事概要

経営を変える手立てとして企業が国際会計基準(IFRS)を使いこなし始めた。時価総額ベースで2割の日本企業が世界各地で同じルールを用いて、M&Aや業績管理の効率を引き上げようとしている。

■海外勢の持ち株上昇

トーセイは13年、シンガポール市場への重複上場を機に、IFRSに切り替えた。15年5月末の海外投資家の持ち株比率は27%と2年前に比べて13ポイント上昇。米大手運用会社ブラックストーン・グループが国内で手がける賃貸不動産の投資業務を一部引き受けるなど業容も広がった。今夏、ロンドンの機関投資家を訪ねた平野昇取締役は「基準の差を説明する必要がなくなり、投資家の反応が変わった」と話す。

※当社掲載記事のご紹介は、当社をご紹介いただいた記事の掲載内容を要約したものです。
情報源となる記事の一切は、トーセイ株式会社が作成したものではありません。

トーセイ株式会社 経営企画部

東京都港区虎ノ門4丁目2番3号 虎ノ門トーセイビル

Tel 03-3435-2864 Fax 03-3435-2866

URL:<http://www.toseicorp.co.jp> Mail:pr-tosei@toseicorp.co.jp